

＜横浜市議員（旭区選出）古川なおきの市政活動報告＞

第49号
2005年3月15日
一月刊



古川なおきレポート



古川レポート編集部 〒241-0825 横浜市旭区中希望が丘252-50
TEL.045-391-4000 FAX.045-366-9700 naoki@furukawa2002.com

羽田空港の国際化

お元気ですか？

3月から私が提案したネーミングライツにより横浜国際総合競技場が「日産スタジアム」としてスタートしました。年間4億7千万円の収入が市に入ってくるようになります。「日産スタジアム」で活躍する横浜F・マリノスや横浜FCの選手を皆様と一緒に応援したいと思います。

横浜市会は連日予算特別委員会が開会されていて、私は副委員長として委員会の運営に携っています。また、地元旭区では4月3日投票日の県議会議員補欠選挙の候補者を応援する準備に追われる毎日を過ごしていて寝不足気味です。

さて、今月号では、先日「中央公論2月号」に掲載された中田市長の論文を元に「羽田空港の国際化」について考えてみたいと思います。横浜市は2003年の12月に羽田空港再拡張事業に対し、100億円の資金協力をすることを決めました。しかし現在、国土交通省が公表している羽田空港再拡張の概要は4本目の滑走路を整備し、単に国内線の発着枠を年間9万回、国際線を3万回増加させるという程度です。これは、日本の国際空港戦略が全くないことを意味していると思います。千葉の成田空港を利用して海外に行かれたことがある方はお分かりだと思いますが、空港まで本当に時間がかかります。横浜から交通渋滞を考えるとバスで2時間はみななければなりませんし、電車でも横浜駅から90分なので、待ち時間も含めると私の場合希望が丘の家から2時間以上かかります。

下記の表をご覧ください。世界主要国の都市の中で、日本の東京が世界で一番空港アクセスが悪いことが分かります。空港アクセスが悪いと当然、日本に来る外国観光客は増えませんし、経済や文化の交流にも支障がでます。我が国は日本への観光客を2010年までに1,000万人以上にするため「VISIT JAPAN」キャンペーンを実施していますが、キャンペーンだけでは目標達成は難しいと思います。私は横浜市民の利便性だけでなく、国際社会の中で日本が発展して行くためにも、羽田空港を国際化すべきであると思います。中田市長が提案するように、羽田空港はソウルや北京、上海、台北、香港など近距離のアジア路線を中心とした国際空港とし、成田空港はこれまでと同様に欧米など長距離路線を中心として、日本への乗り入れを求めている36ヶ国との新規航路を開設すべきであると思います。そして、成田空港にも羽田空港に移管したアジア路線の空いた部分を利用して国内線の便数を増やし、国内線と国際線を相互乗り入れさせハブ化する。これなら千葉県の人々は国内線を利用する時に、わざわざ羽田空港に行かなくても済むので、喜んでいただきたいと思いますし、地方の方も利便性が高まります。

私も、市民の皆様の税金を拠出している以上、今回の羽田空港の再拡張を単なる拡張に終わらせることなく、真の国際空港になるよう、また、神奈川口構想と合わせて、国に対して働きかけをしていきたいと思えます。春休みやゴールデンウィークに海外に行かれる方も多いと思いますが、海外では十分に気をつけてください。皆様のご意見をお待ちしています。

各主要空港から市街地までのアクセス

都市	空港	距離 (km)	所要時間 (分)
東京	成田国際空港	70	60(特急)
羽田	東京国際空港	20	40(タクシー)
ニューヨーク	J・F・ケネディ空港	24	40(タクシー)
ロンドン	ヒースロー空港	25	15(特急)
パリ	シャルル・ド・ゴール空港	26	27(列車)
ソウル	仁川国際空港	50	50(バス)
	金浦空港	17	40(バス)
北京	北京国際空港	25	50(バス)
	※リニアモーターカー 建設中		
上海	上海浦東国際空港	30	7(リニアモーターカー)
香港	香港国際空港	34	23(特急)

横浜市議員 古川直季

渡航者数（2002年度）

日本人の海外旅行者	1700万人
日本への旅行者	500万人
中国人の海外旅行者	1200万人
中国への旅行者	3700万人
韓国人の海外旅行者	600万人
韓国への旅行者	500万人

横浜市の局再編成

局再編成は、新しい行政運営の基本理念である「協働」「分権」「都市経営」を推進し、行政サービスに対する市民満足度の一層の向上を目指し、簡素で効率的・効果的な執行体制を確立しようとするものです。

<基本的な考え方>

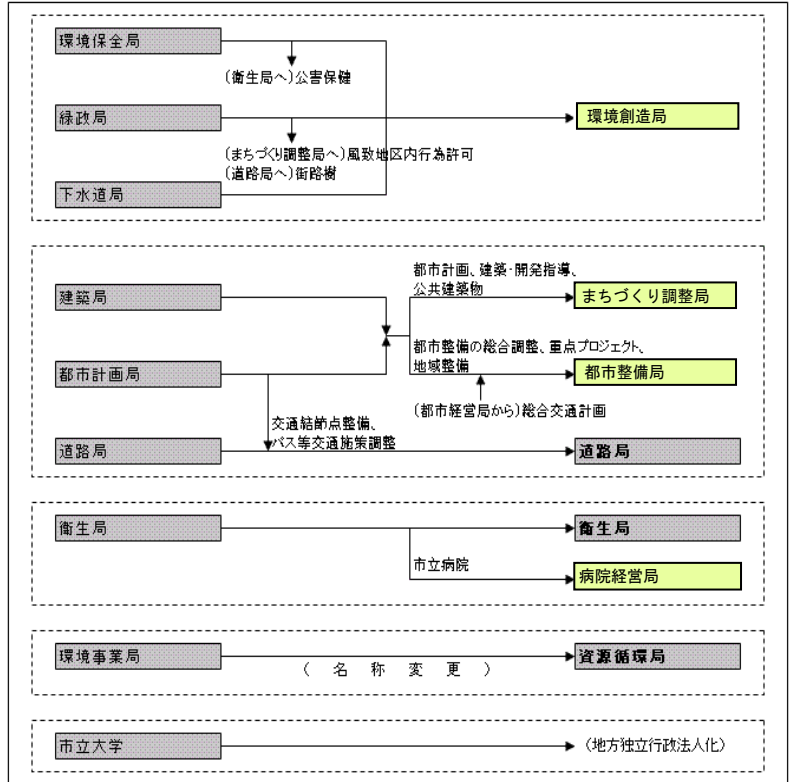
- ① 市民に最も身近な基礎的自治体として、民の力が存分に発揮され、活力と個性溢れる地域社会構築に向け、行政が担う役割の的確な遂行
- ② 大都市ならではの規模や集積のメリットを十二分に生かした、市民本位の、区役所と局の効率的で効果的な権限と責任の配分
- ③ 環境の重視、既存都市施設の効率的な維持管理、持続可能な財政の確立など、時代の変化や社会経済情勢の変化に対応した都市経営の実現

■ 取組の3ポイント

- ① 市民と共に行動することのできる局を構築します
市民の視点や価値観に立って課題を認識し、その解決に向けて市民と共に行動することのできる局を構築します。
- ② より一層簡素で効率的な執行体制とします
各局において、既存の事務事業や仕事の進め方を抜本的に見直し、より一層簡素で効率的な執行体制とします。
- ③ 現場ならではの経験を生かした改革です
市民サービスの最前線の職員も含めて、各職場での議論を繰り返し徹底して行い、現場ならではの経験を生かした、効果の高い再編とします。

平成17年度には、

- ・「環境保全局」「緑政局」「下水道局」を統合して、快適で安全な市民生活を支える環境施策を総合的に推進するため「環境創造局」を創設。
 - ・「都市計画局」「建築局」を再編成し、法に基づく計画・調整・誘導を戦略的に展開する「まちづくり調整局」と、都市の整備を総合的・計画的に推進する「都市整備局」を創設。また、「道路局」は、バス等の交通施策と道路施策を一元的に実施するなど、機能を強化。
 - ・「衛生局」から、市立病院事業を所管する部門を分離独立させ、「病院経営局」を創設。
 - ・「環境事業局」は、循環型社会の構築を推進する局の役割を踏まえ、「資源循環局」に名称変更。
 - ・「市立大学」は、市民が誇りうる、市民に貢献できる大学を目指し、大学改革を着実に進め、自主・自律的な大学運営を行うため、地方独立行政法人化。
- などの再編成を実施します。



古川なおきスクエア (勉強会)

3月19日(土) 15時～ 八洲学園大学(高島町)にて

☆今回の講師を紹介します☆

いそもと桂太郎さん



- ・関東学院大学卒業・理容師・42才
- ・理髪店経営の一方、散髪ボランティアや理容学校の講師として活動
- ・2003年度(社)横浜青年会議所常任理事
- ・旭区若葉台在住

松田 嘉徳さん

- ・1992年明治大学政治経済学部政治学科卒業
- ・大学時代は古川なおきとともに明治大学雄弁部で活動する
- ・現在、毎日新聞東京本社編集局写真部所属

※古川なおきスクエアにひとこと「この度は講演の依頼をいただきまして、光栄に思っております。これからの学生にお話ができるチャンスをいただきありがとうございます！ごさいます！」

※松田さんは、「写真を撮るのが仕事なので…」とのことで写真はありません。当日をお楽しみに！

今回は、現役の新聞記者である松田嘉徳さんをお迎えし「報道」について様々な角度からお話しいたします。また、いそもと桂太郎さんには理髪店経営者の視点で若者の社会参加についてお話しいただく予定です。ご参加を希望される方は古川事務所へご連絡ください。Tel1391-4000

政治活動費を公開します

政治家自身が自ら情報公開を行わなければ、行政に対して情報公開や民営化を主張する立場にないと思います。また、市民の皆様が信頼できる政治を実現するためにも、私は年1回この古川なおきレポートで活動費を公開しています。

< 2004年度古川直季青春の会収入 >	
・個人からの寄附	1,823,830円
・事業収入	2,182,021円
< 2004年度古川直季青春の会支出 >	
・事務所費(光熱費、消耗品、通信費など)	1,184,304円
・政治活動費(交通費、会議出席費など)	1,667,197円
・研究会費、書籍費、記録資料費	109,465円

※古川直季青春の会は古川なおきの政治活動費を取り扱う資金管理団体で、個人からの寄附を受け入れています。確定申告の際には所得控除が認められています。詳しくは古川事務所までお問合せください。

古川なおきへご支援をいただける方がいらっしゃいましたら下記へお願いします。切手や作業ボランティアも大歓迎です。

横浜銀行二俣川支店 普通口座 1347667「古川直季青春の会」
郵便局 00240-3-92538「古川直季青春の会」

☆古川なおきプロフィール☆

昭和43年8月31日横浜市生まれ 36才
 県立希望ヶ丘高校・明治大学卒業
 横浜銀行勤務後、議員秘書となる
 平成7年横浜市議員初当選(26才)
 平成16年度市民建築常任委員会副委員長
 同 情報化社会推進・危機管理対策特別委員会
 自民党横浜市支部連合会副幹事長

横浜青年会議所(JC)
 日本動物福祉協会横浜支部支部長
 鶴ヶ峰商店街協同組合顧問
 希望ヶ丘高校同窓会桜蔭会評議員
 旭区スポーツダンス協会顧問
 旭区サッカー協会顧問
 卓球本間クラブ所属